

安全データシート

1 [製品及び会社情報]

製品の名称： QMIバイオガード II B剤
会社名： 株式会社ソヴリン
住所： 〒468-0052 愛知県名古屋市天白区井口1丁目601番地
責任者： 村瀬啓方
担当者： 村瀬教友
電話番号： 052-802-6378
FAX： 052-805-0699
作成日： 2013年8月30日
改訂日： 2015年9月28日
推奨用途及び使用上の制限： 除菌・消臭剤
追加情報： 作成者ー

2 [危険有害性の要約] (※健康有害性の分類は、JISZ7252 の混合物の健康有害性の分類方法に基づく)

GHS分類区分

物理化学的危険性

| | |
|------------|--------|
| 爆発物 | 分類対象外 |
| 可燃性又は引火性ガス | 分類対象外 |
| エアゾール | 分類対象外 |
| 支燃性又は酸化性ガス | 分類対象外 |
| 高压ガス | 分類対象外 |
| 引火性液体 | 区分外 |
| 可燃性固体 | 分類対象外 |
| 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| 自然発火性液体 | 区分外 |
| 自然発火性固体 | 分類対象外 |
| 自己発熱性化学品 | 区分外 |
| 水反応可燃性化学品 | 分類対象外 |
| 酸化性液体 | 分類できない |
| 酸化性固体 | 分類対象外 |
| 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| 金属腐食性物質 | 分類できない |

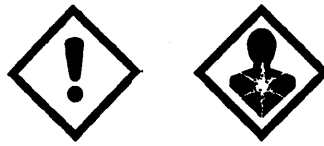
健康有害性

| | |
|----------------------|--------|
| 急性毒性(経口) | 区分外 |
| 急性毒性(経皮) | 分類できない |
| 急性毒性(吸入:蒸気, 粉塵, ミスト) | 分類できない |
| 皮膚腐食性及び刺激性 | 区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 区分2 |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 区分外 |
| 生殖細胞変異原性 | 区分1 |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 区分1 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |

環境有害性

水生環境有害性(急性)
水生環境有害性(長期間)
オゾン層への有害性

分類できない
分類できない
分類できない

GHSラベル要素
絵表示注意喚起語
危険有害性情報

危険
強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き
安全対策

取扱い後は手や顔をよく洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
使用前に取扱説明書入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

応急措置

眼に入った場合：
水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

保管
廃棄

施錠して保管すること。
内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3 [組成、成分情報]

| 化学名又は一般名 | 別名 | 化学式 | 濃度(重量%) |
|--|---|---|----------|
| 1,1'-ジデシル-3,3'-[ブタン-1,4-ジイルビス(オキシメチレン)]ジピリジニウム=ジプロミド | 1,4-ビス(3,3'-(1-デシルピリジニウム)メチルオキシ)ブタンジプロミド, 3,3'-(ブタン-1,4-ジオキシジメチレン)-N,N'-ジデシルジピリジニウム=ジプロミド | C ₃₆ H ₆₂ Br ₂ N ₂ O ₂ | <1 |
| プロパン-1,2-ジオール | プロピレングリコール | CH ₃ CH(OH)CH ₂ OH | <1 |
| エタノール | エチルアルコール | C ₂ H ₅ OH | 0.45 |
| さとうきび抽出物 | サトウキビエキス | - | 0.0002 |
| 水 | - | H ₂ O | >98.5498 |

| 化学名又は一般名 | CAS No. | 化審法官報公示整理番号 | 安衛法官報公示整理番号 |
|--|-------------|-------------|-------------|
| 1,1'-ジデシル-3,3'-[ブタン-1,4-ジイルビス(オキシメチレン)]ジピリジニウム=ジプロミド | 851761-75-6 | 5-6898 | 8-(1)-3028 |
| プロパン-1,2-ジオール | 57-55-6 | 2-234 | 化審法を準用 |
| エタノール | 64-17-5 | 2-202 | 化審法を準用 |
| さとうきび抽出物 | 91722-22-4 | 非該当(天然物) | 11-(4)-809 |
| 水 | 7732-18-5 | 非該当 | 非該当 |

4 [応急措置]

| | |
|--------------------------------------|---|
| 吸入した場合 | 新鮮な空気の場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸をされていて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。呼吸が止まっている場合には、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。異常が認められる場合には、医師の診断を受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐ。接触した部分を水で十分に洗い流すこと。皮膚に異常が認められる場合には、医師の診断を受けること。 |
| 眼に入った場合 | 一刻も早く水で洗浄を始め、数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに眼科医の手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 水で口の中をよく洗浄すること。意識があり可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医師の診断を受けること。意識が無い場合には、決して口から何も与えないこと。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 応急措置をする者の保護 | 遅発症状として不快感、頭痛、全身倦怠感を示す場合がある。 救助者はゴム手袋の他、蒸気、飛沫及びミスト等が発生する場合には、適切な保護めがね、保護マスクを着用する。 |

5 [火災時の措置]

| | |
|---|--|
| 消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性 特有の消火方法 | 噴霧水、粉末消火剤又は炭酸ガス消火剤を使用すること。 情報なし 情報なし 発火源を断ち、消火剤を用いて消火すること。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移すこと。移動できない場合には、周辺に水を噴霧して冷却すること。燃焼時に炭素酸化物、窒素酸化物等のガス又は加熱により蒸気を発生する為、消火作業は風上から行い、発生したガスにばく露されないようにすること。 |
| 消火を行う者の保護 | 消火作業では適切な防護服を着用すること。必要があれば、自給式呼吸器を着用すること。 |

6 [漏出時の措置]

| | |
|-----------------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置 | 飛沫やミストが発生している場合には、吸入したり、眼に入らないようにすること。屋内で漏出した場合には、処理が終わるまで十分に換気を行うこと。作業の際には適切な保護具を着用し、本製品の皮膚や眼への付着や、ガスの吸入を防ぐこと。 |
| 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材 | 本製品及びその洗浄水を土壌、河川及び下水設備等に排出しないこと。 少量の漏出の場合には、ウエス等の吸収材で回収し、可能な限り拭き取る。 多量の漏出の場合には、密閉式の廃棄用の容器に可能な限り回収した後、ふき取り、多量の水で洗い流すこと。 廃棄に関しては、国及び地方自治体の規則に従って処分すること。 |

7 [取扱い及び保管上の注意]

取扱い

技術的対策

通常の一般的な全体換気を行うこと。飛沫やミストが発生する場合には、局所排気装置を使用すること。

安全取扱注意事項

十分に換気されている場所で取り扱うこと。本製品に長時間接触する場合には、皮膚や粘膜に刺激を与えることがある為、適切な保護具を着用し、身体への付着やガスを吸入しないよう注意すること。本製品を噴霧することを避けること。噴霧して使用する場合には、ミストを吸入しない為の保護マスク及び保護眼鏡等を着用すること。過熱を避けること。直接食品に触れる機器類に使用する場合には、使用後に水で十分に洗い流すこと。強酸化剤や他の洗剤、殺菌剤などの混合は避けること。

衛生対策

本製品の使用後は十分に手洗い及びうがいを行うこと。食品に接触しないよう注意すること。

保管

安全な保管条件

十分に換気された冷暗所に密封して保管すること。内容物の漏出を防ぐ為、容器をまっすぐに立てて保管又は運搬すること。

安全な容器包装材料

鉄を腐食する可能性がある為、ポリエチレンやガラス、ステンレス等の容器に保管すること。

8 [暴露防止及び保護措置]

許容濃度

日本産業衛生学会

情報なし

ACGIH(米国産業衛生専門家会議)

情報なし

OSHA(米国労働安全衛生局)

PEL(許容ばく露限度): 1,000 ppm, 1,900 mg/m³
(エタノールとして) <*1>

設備対策

局所排気装置などの換気装置を設置すること。作業区域に洗眼設備を設置すること。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、ミスト用あるいはガス用の保護マスクなどの保護具を着用すること。

手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用すること。

眼の保護具

サイドシールドつきの保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

通常の長袖の保護衣を着用すること。

9 [物理的及び化学的性質]

外観

無色透明～淡褐色透明の液体

臭い

わずかな特有のにおい

沸点、初留点及び沸騰範囲

情報なし

引火点

情報なし

燃焼又は爆発範囲の上限・下限

情報なし

蒸気圧

情報なし

比重(相対密度)

情報なし

溶解度

水及びエタノールに易溶。

自然発火温度

情報なし

10 [安定性及び反応性]

| | |
|----------------------|--|
| 化学的安定性 | 通常の使用条件下では安定 |
| 危険有害反応可能性 避けるべき条件 | 含有しているエタノールの蒸気は空気と混合し、爆発の危険をもたらすことがある。 |
| 混蝕危険物質 | 強酸化剤、他の洗剤(アニオン系)、殺菌剤、鉄 |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし |

11 [有害性情報] (※健康有害性の分類は、JISZ7252の混合物の健康有害性の分類方法に基づく)

| | |
|---------------------------|--|
| 急性毒性 経口 | 本製品の構成原料の急性毒性試験結果より、本製品の経口急性毒性は5,000 mg/kg 以上と推定され、区分外である。 |
| 経皮 | 情報なし |
| 吸入 | 情報なし |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 本製品の構成原料の一つは区分2 として分類されており、当該構成原料の含有率は1%であることから、混合物としての本製品は区分外とした。 |
| 眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性 | 本製品の構成原料の一つは区分1 として分類されており、当該構成原料の含有率は1%であることから、混合物としての本製品は区分2 とした。 |
| 呼吸器感受性又は皮膚感受性 生殖細胞変異原性 | 情報なし 本製品の含有成分のエタノールは区分1B として分類されており、エタノールを0.1%以上含有する為、本製品では区分1 とした。<*2> |
| 発がん性 生殖毒性 | 情報なし 本製品の含有成分のエタノールは区分1A として分類されており、エタノールを0.1%以上含有する為、本製品では区分1 とした。<*2> |
| 特定標的臓器毒性, 単回ばく露 | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性, 反復ばく露 | 情報なし |
| 吸引性呼吸器有害性 | 情報なし |

12 [環境影響情報]

| | |
|---------|--------------------|
| 生態毒性 | 情報なし |
| 残留性・分解性 | 一部に難分解性の成分を含有している。 |
| 生体蓄積性 | 情報なし |
| 土壤中の移動性 | 情報なし |

13 [廃棄上の注意]

国及び地方自治体の規則に従って処理すること。地方自治体の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

14 [輸送上の注意]

国際規制

| | |
|---------|---|
| 国連番号 | 非該当 |
| 品名 | 非該当 |
| 国連分類 | 非該当 |
| 容器等級 | 非該当 |
| 特別の安全対策 | 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認すること。内容物の漏れを防ぐ為に容器をまっすぐに立てて運搬すること。夏場の輸送時においては、熱い鉄板や地面の上に直接置かないこと。 |

国内規制

| | |
|----|-----|
| 海上 | 非該当 |
| 航空 | 非該当 |
| 陸上 | 非該当 |

15 [適用法令]

| | |
|---------------|---|
| 労働安全衛生法 | 名称等を通知すべき危険物及び有害物：エタノール (施行令第十八条の二、エタノール0.1%以上) |
| 化学物質排出把握管理促進法 | 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |
| 消防法 | 非該当 |
| 化学物質審査規制法 | 旧第二種及び旧第三種監視化学物質：1,1'-ジデシル-3,3'-[ブタン-1,4-ジイルビス(オキシメチレン)]ジピリジニウム=ジプロミド |
| 水質汚濁防止法 | 窒素含有量許容限度120mg/L (施行令第三条) |
| 下水道法 | 窒素含有量 (施行令第九条の五等) |

16 [その他の情報]

引用文献及び参考文献

- ・GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針(一般社団法人 日本化学工業協会／2012年6月版)
- *1 U.S. Occupational Safety and Health Administration(OSHA)のTABLE Z-1 Limits for Air Contaminants
- *2 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)のGHS 分類結果(エタノール[CAS No.64-17-5])

※注意

安全データシートの記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有物・物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。記載内容は情報の提供であって、保証するものではありません。